



AWS セキュリティ診断サービス

AWS 環境のセキュリティ診断を
低コストで実施

- Amazon Web Services、[およびかかる資料で使用されるその他のAWS商標] は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- 本資料に掲載の製品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 資料の内容は断りなしに変更することがあります。



JOPS

クラウド、データセンター、データサイエンス。
合理的なITプロフェッショナルサービスで
お客様のビジネスの創出を支援します。

本社	富山県富山市上本町3-16 上本町ビル7F
事業所	北陸、東京、長野、金沢、名古屋
設立	平成2年7月5日
事業内容	ITインフラ・ソリューション事業
従業員数	366名（令和3年4月1日現在）

経験豊富なAWS人員体制

多数の認定資格を要し、
充実した人員体制・組織で
導入をサポートします。

■担当者 保有資格一覧

- Alexa skill builder – Specialty
- Database – Specialty
- Machine Learning – Specialty
- Big Data – Specialty
- Security – Specialty
- Advanced Networking – Specialty
- Solutions Architect – Professional
- DevOps Engineer - Professional
- SysOps Administrator – Associate
- Developer - Associate
- Solutions Architect - Associate
- Cloud Practitioner - Practitioner

所属団体、資格等

各種会員・資格 ISO9001:2008認証
ISO/IEC 27001:2013認証
プライバシーマーク使用許諾
エコアクション2.1ガイドライン2009年版認証
労働者派遣事業（許可番号）派16-300148
DX認定（認定番号）DX-2021-07-0010-01 **New!**

参加団体 富山県情報産業協会
長野県情報サービス振興協会
長野市ICT産業協議会
石川県情報システム工業会

セキュリティスキルを持った体制でのクラウド運用

グローバルスタンダードでベンダーニュートラルなスキルもった
エンジニアが運用サービスをご提供いたします。





サービス背景

パブリッククラウドの国内市場規模は1兆円を超え、今後も急速な拡大が見込まれます。クラウドにおけるセキュリティリスクも上昇するため、利用企業にとってセキュリティ確保が重要課題となっております。

パブリッククラウド利用者増加に伴い、 設定ミスによるセキュリティインシデント増加

クラウドにおけるセキュリティインシデントの原因は、単純な設定ミスによるものが2020年時点では95%を占め、2025年時点では99%を占めると予想されております。※

95%

2020時点



99%

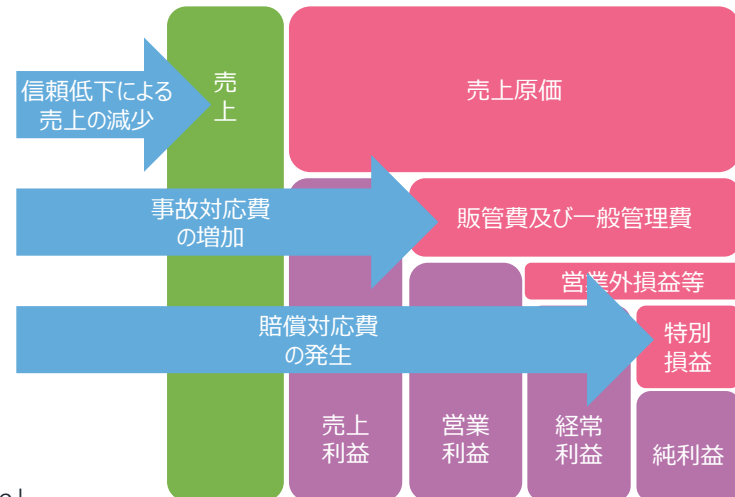
2025年時点



※出典 Is the Cloud Secure?
[<https://www.gartner.com/smarterwithgartner/is-the-cloud-secure/>]

セキュリティ事故、情報漏洩、ランサムウェア等 セキュリティインシデント発生時に発生時の収益 (損益) への影響

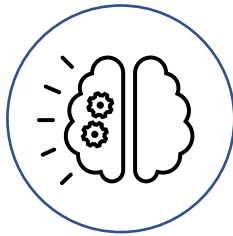
セキュリティインシデント発生後は、インシデントの内容に応じて、損益（収益）への悪影響が発生し、場合によっては**事業の継続が困難になるといった致命的な状況**をも引き起こす可能性があります。





AWS セキュリティ診断サービスの特徴

AWS セキュリティ診断サービスは、お客様の社内システムが稼働しているAWS 環境のセキュリティ診断をスピーディーかつ、低コストで実施するサービスです。診断結果をレポートにまとめ、お客様に御提供いたします。



AWS Security Hubでの 包括的なセキュリティ診断

AWS セキュリティ診断に最適化されたマネージドサービス「[AWS Security Hub](#)」を活用することで、クラウドネイティブなセキュリティ診断を実施いたします。また、診断を実施することでAWS利用に際してのベストプラクティス「[AWS Foundational Security Best Practices standard](#)」を満たしていることの確認が可能です。



セキュリティ不適合項目に対する 対応方法などのレポート提供

セキュリティ診断実施後、以下を含めたレポートを提供いたします。

- ・検査実施項目一覧
- ・診断内容および結果
- ・不適合項目の説明



不適合項目対処後の 再診断不要

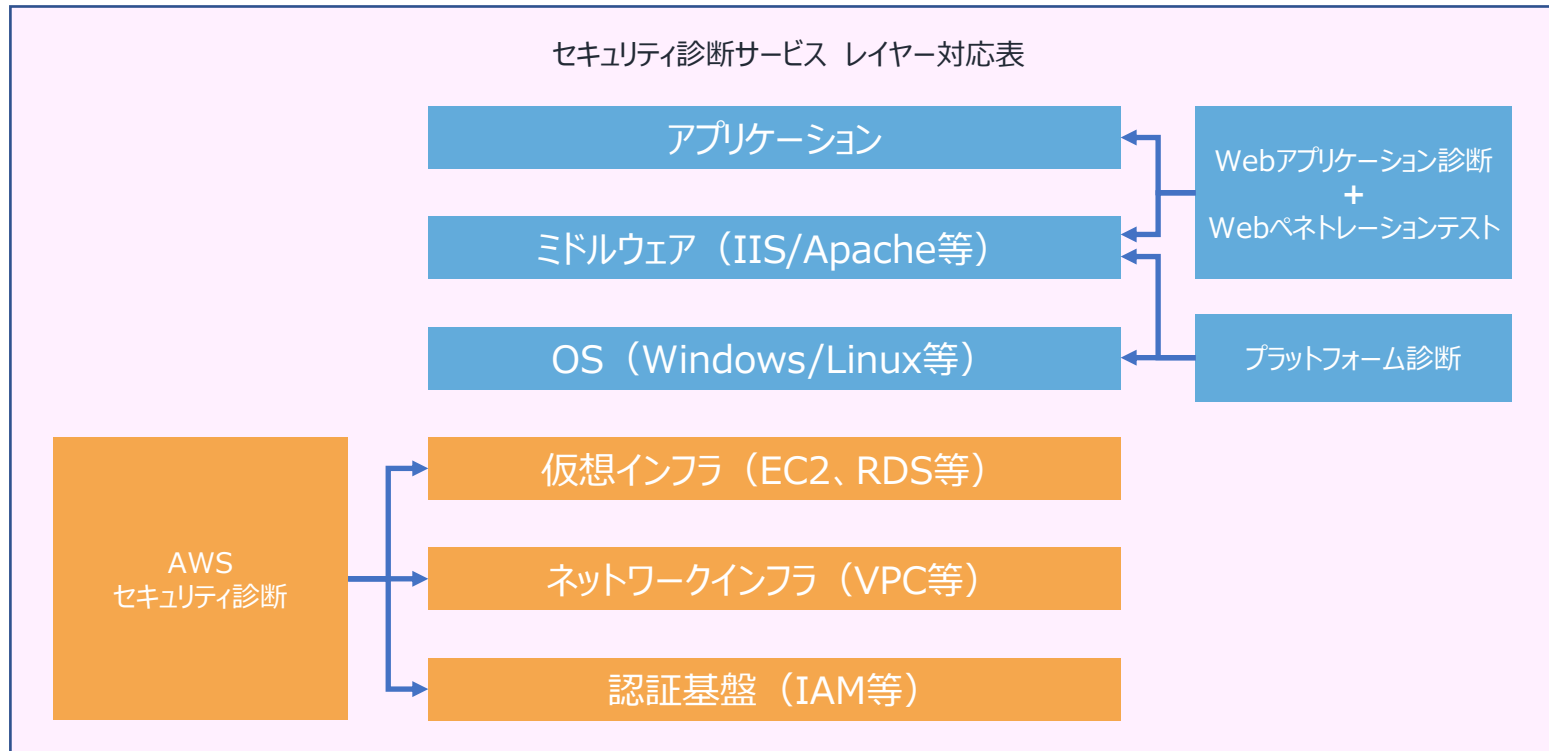
多くのセキュリティ診断は不適合対処後、再診断依頼が必要となりますがAWS セキュリティ診断に最適化されたマネージドサービス「[AWS Security Hub](#)」の設定後、お客様で適合状況を分かりやすく把握することができます。これにより、対応後に再診断を実施する必要がありません。診断後の不適合項目に対する対応状況を[お客様ご自身で確認することが可能](#)です。



AWS セキュリティ診断サービスの特徴

AWS セキュリティ診断サービスは、お客様の社内システムが稼働しているAWS 環境のセキュリティ診断をスピーディーかつ、低コストで実施するサービスです。診断結果をレポートにまとめ、お客様に御提供いたします。

セキュリティ診断サービスは、AWS環境内から実施する「AWSセキュリティ診断」と、インターネット側から実施する「Webアプリケーション診断、プラットフォーム診断」の2つに分かれます。





AWS セキュリティ診断サービスの料金

AWS セキュリティ診断サービスは、お客様の社内システムが稼働しているAWS 環境のセキュリティ診断をスピーディーかつ、低コストで実施するサービスです。診断結果をレポートにまとめ、お客様に御提供いたします。

AWS 診断プラン

共通料金 80,000円/アカウント

- AWS Security Hub初期設定
お客様環境にAWS Security Hub初期設定を実施させていただきます。実施時には実際にお客様環境AWSアカウントへログインさせていただきます。

Basic 300,000円/アカウント

AWSベストプラクティス構成に準拠していることの診断及び、レポート作成を行う標準的なプランとなります。

- 診断及び、レポート作成対象
AWS Foundational Security Best Practices 標準

Standard 400,000円/アカウント

米国国家安全保障局（NSA）など加盟する団体が定めた項目に基づいた診断及び、レポート作成を行うより高度なプランとなります。Basic内容に加えて、以下を追加対応

- 診断及び、レポート作成対象
Center for Internet Security (CIS)
AWS Foundations Benchmark

Enterprise 500,000円/アカウント

クレジットカード情報および取り引き情報を保護するためセキュリティ基準に基づいた診断及び、レポート作成を行う業種特化型のプランとなります。Standard内容に加えて、以下を追加対応

- 診断及び、レポート作成対象
Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS)

不適合項目対処 オプション

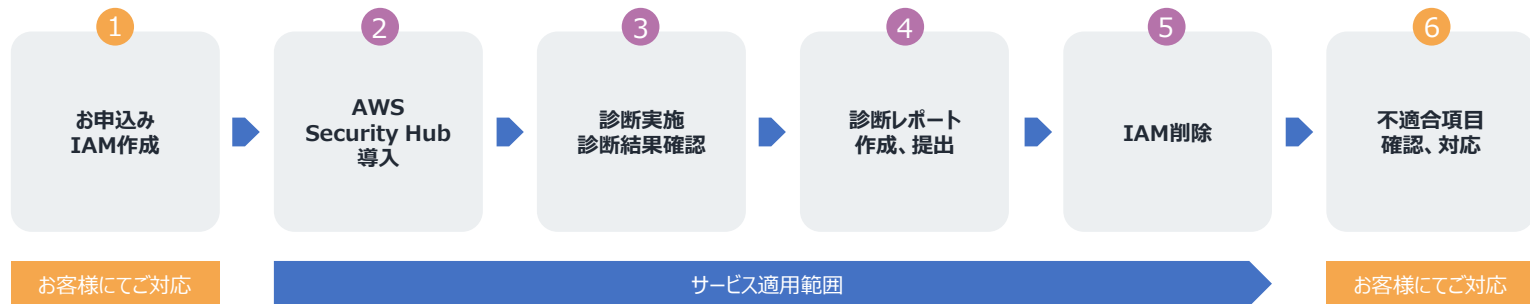
別途お見積り

- 不適合項目対処
AWS セキュリティ診断後の不適合項目に対して、セキュリティ適合状態となるように対処をさせていただきます。対処項目に応じて、別途お見積りさせていただきます。



AWS セキュリティ診断サービスの流れ

AWS セキュリティ診断サービスは、お客様の社内システムが稼働しているAWS 環境のセキュリティ診断をスピーディーかつ、低コストで実施するサービスです。診断結果をレポートにまとめ、お客様に御提供いたします。



J O P S